

令和3年度 豊岡市立城崎小学校 学校経営の方針

1 学校経営目標について

【城崎中校区共通学校教育目標】

夢を持ち ふるさとの未来を担う 城崎っ子

【校訓】 創造 健康 協同

【経営の基本方針】

- 1 「知」「徳」「体」の資質・能力をバランスよく向上させ、21世紀をたくましく生きる力を培える教育実践を行う。
- 2 児童一人一人の事実をよく把握した上で、**児童に寄りそう指導（授業・学級づくり）**を行う。
- 3 全教職員が、学校教育目標実現に向け掲げられた本年度の具体的な教育実践や指導を、年間を通じて**継続させ、その徹底**を図る。
- 4 教育活動は信頼あって行うことができるという認識のもと、**家庭や地域と連携協力**関係を築く。

めざす児童像

- 1 : 目標（夢）を持ち、やりぬく子
《創造・やりぬく力》
- 2 : コロナに負けない体と生活習慣を作る子
《健康・自制心》
- 3 : 自他を大切にし、
お互いを認め合い、高め合う子
: ふるさとを愛し、誇りを持って、
城崎を語る子
《協同・協働性》

めざす学校像

- 1 : みんなの目が輝き、笑顔あふれる学校
- 2 : 『聴く』ことを大切にし、
豊かな言葉が通い合う学校
- 3 : 温かいまなざしで児童理解を深め、
子どもに「自信」を持たせ、
良さを伸ばす学校
- 4 : 「チーム城崎」の教職員が創意を生かし、
情報を共有して共通実践する学校
- 5 : 家庭・地域に開かれ信頼される学校

めざす教師像

- 1 : 寄りそう教師
児童理解に基づき、
児童に寄りそう指導ができる教師
- 2 : 使命感
使命感を持ち、やりきる教師
- 3 : 信頼
児童・保護者・地域住民から
信頼される教師

2 取組内容の視点

(1) あたまの力【「確かな学力」を育む学びの創造】

- ・学んだ知識（技能）がつながり、暮らしの中で役立つ授業を行う。
- ・子どもが夢中になって、学びひたる授業を行う。
- ・一人一人が「わかる・できる」を実感できる授業を行う。
- ・校内授業研修を充実させ、教員同士が学び合う研修体制を作る。

(2) こころの力【「豊かな心」を育む道徳教育・人権教育の充実】

- ・人権を尊重し、思いやりに満ちた人間関係のある学級経営を行う。
- ・心の教育の柱を道徳教育とし、道徳科の授業の質の向上を図る。
- ・体験活動や探求活動を充実させ、ふるさと城崎地区を愛する子どもを育てる。

(3) からだの力【「健やかな体」を育成する】

- ・学校全体の体力面における実態を把握し、課題を克服する体育授業を行う。
- ・睡眠教育と食育の充実を図り、基本的な生活習慣を形成する子どもを育てる。

重点指導項目（指導の焦点化）

(1) あたま

- ・児童の「聞く力」「読み取る力」を育てる。
⇒学び合いの指導
⇒読書（家読）の指導

(2) こころ

- ・自己肯定感・非認知能力（「やりぬく力」「自制心」「協働性」他）を高める。
⇒成功失敗体験と称賛承認経験を積む指導

(3) からだ

- ・基礎体力である「走力・調整力」の向上を図る。
⇒縄跳び・鉄棒運動の推進。
⇒城崎エクササイズの継続と充実
- ・睡眠時間を確保する。
⇒小中合同取組「早寝・早起き・朝ご飯」「省テレビ・ゲーム」の継続と家庭への啓発

3つの指導姿勢

- 1 **笑顔、元気**に児童と接する。
- 2 児童一人一人をよく見て理解し、結果のみならずその過程を見て、評価（褒める）する。
- 3 学級経営の中心に授業を置き、学級や児童一人一人の**事実に基づいて、授業展開や個への指導**を図る。